いいものだけを世界から

■主要諸元表

		1200 LE 2Dr.	1303 LE CONVERTIBLE
●型式		A-11AJ型	A-15AJK型
●寸法・重量			
全長	mm	4,090	4,125
全巾	mm	1,550	1,585
全高	mm	1,505	1,500
ホイールベース	mm	2,400	2,420
トレッド　前／後	mm	1,310/1,315	1,390/1,365
最低地上高	mm	145	185
車輌重量	kg	830	915
乗車定員	名	5	5
●性能			
最高巡航速度	km/h	130	130
登坂能力	tan θ	0.41	0.35
最小回転半径	m	5.3	4.7
●エンジン			
型式		AJ型	AJ型
種類		水平対向4気筒空冷リヤエンジン	
内径×行程	mm	85.5×69.0	85.5×69.0
総排気量	cc	1,584	1,584
圧縮比		7.3	7.3
最高出力(DIN)	HP/rpm	48/4,000	48/4,000
最大トルク(DIN)	kgm/rpm	10.2/2,800	10.2/2,800
燃料タンク容量	ℓ	40	41
使用燃料		無鉛	無鉛
●諸装置			
クラッチ		乾燥単板コイルスプリング	
トランスミッション		前進4段、後退1段 1.2.3.4速オールシンクロメッシュ	
変速比	第1速	3.778	3.778
	第2速	2.059	2.059
	第3速	1.260	1.260
	第4速	0.931	0.931
	後　退	3.778	3.778
最終減速比		3.875	3.875
フロント サスペンション		トレーリング アーム	マクファーソン ストラット
リヤ サスペンション		トレーリング アーム	トレーリング アーム
ブレーキ　前／後		ドラム/ドラム	ドラム/ドラム
使用タイヤサイズ		5.60-15-4PR	5.60-15-4PR

●本仕様は予告なく変更される場合があります。
●このカタログに掲載する写真は、日本に輸入される仕様の車と相違する所があることをご了承ください。
●VWビートルは現行の安全基準、排気ガス基準をすべてみたしています。

■装　備

			VW1200LE	VW1303LE コンバーチブル
外　装		バルブ タイプ丸型ヘッドランプ(2灯式)	●	●
室内	シート	アジャスタブル ヘッドレスト付フル リクライニングシート(フロント)	●	●
		シート内張り・ウーブン ベロア(○=レザレット)	●	○
	シートベルト	前席・イナーシャータイプ3点式シートベルト	●	●
		後席・2点式シートベルト	●	●
	計器盤	エレクトリック クロック(クオーツ)		●
		スピードメーター	●	●
		メーター照度調節スイッチ	●	●
	オーディオ	AM/FMラジオ	●	●
	空　調	2スピード フレッシュエア/ヒーター ブロワー	●	●
		サイドウインドー用吹出口		●
	ド　ア	アームレスト	●	●
	天井クオーター	オールレザー貼り	●	●
	スモーキング	前席灰皿	●	●
		後席灰皿	●	●
	その他	グラブ ハンドル コートフック	●	●
		前席サンバイザー	●	●
		グローブボックス	●	●
安全性	ウォーニング	CAT(排気温度異常上昇警告灯)	●	●
		非常用点滅表示ランプ	●	●
		油圧警告ランプ	●	●
		充電警告ランプ	●	●
		二回路式ブレーキウォーニングランプ	●	●
	ガード	ラバーモール付クロムバンパー	●	●
		衝撃吸収ステアリング ホイール	●	●
		パデッド ダッシュボード	●	●
		バンパー プロテクティブカバー(リヤ)	●	●
	ブレーキ	デュアル サーキット ブレーキ	●	●
		前輪ドラムブレーキ・後輪ドラムブレーキ	●	●
	バッテリー	12V 45A	●	●
	その他	熱線式リヤ ウインドー	●	●
		脱落式防眩インナー ミラー	●	●
		セフティ セル構造ボディ	●	●
		ネガティブ ロール ラジアス システム		●
		スピード警告装置	●	●
機 能 性		三角窓	●	●

フオルクスワーゲンのお問合せ、ご用命は……

'78

VW BEETLE
《Made in Germany》

西ドイツフォルクスワーゲン社
研究開発センター ｜ エムデン工場
ウオルフスブルグ本社及び工場

《Made in Germany》
今年も西ドイツ生まれ 生粋のかぶと虫を お届けします。

1952年、2台の奇妙なかたちの車が、 西ドイツから日本に上陸しました。かぶと虫です。まだ戦争の傷あとも生ま生ましい、荒れ果てた日本の道を、この奇妙な車は走り続けました。とても道路とはいえない、すさまじい凸凹道でした。日本列島はめざましい勢いで建設がすすみました。以来25年の歴史を、この奇妙な車はひたすら走りつづけました。そして北は北海道から、南は沖縄まで、日本のすみずみに数えきれないほどの仲間がふえました。
これらのかぶと虫にまじって、日本にきた最

初の車も、いまなお現役として活躍しています。高速道路を100km/h以上のスピードで巡航する実力もそのままに。
ふるめかしいクラシックカーとしてでなく、いつも新鮮なニューモデルとして。かぶと虫の年式は、よほどの"通"のかたでない限り、みわけがつきません。
近ごろの車は、たしかに耐久性がよくなってきました。けれども、このかぶと虫のタフネスぶりには、ちょっと歯が立ちません。

タフなのはエンジンや足まわりばかりではありません。ガタのこないボディ、へたらないシート、いつまでも新鮮さのかわらないスタイル…そして25年間、年とともにますますこの車の真価が高まるのは、なんといっても、どこが故障しても何年式のモデルにも、充分な部品が用意されていることです。
本当に値うちのあるものを、いつまでも大切に使う……こういう時代に、一番ふさわしい車、それがかぶと虫です。
ヤナセは、西ドイツ最大の自動車メーカー、フォルクスワーゲン社が40年の歳月をかけて磨きあげたかぶと虫を日本のみなさまにお届けすることに、誇りと喜びを持っています。
これからも、誇り高いMade in Germanyのかぶと虫への信頼にお応えするために、西ドイツかぶと虫の生産が続くかぎり、この車をみなさまにお届けします。

いまみなさまがお乗りになっている数多くのかぶと虫、これからあなたがお乗りになるであろうかぶと虫が、今後、いつまでも、よく走り続けられるよう、ヤナセは見守ってまいります。いつでも、充分なパーツとすぐれた技術を持つ専門メカニックと全国200ヵ所以上のサービスネットを通して。
信頼の保証のついているかぶと虫を、安心して、いつまでもお乗りください。

いまなお高速道路を100km/hで疾走する日本第一号1952年式のかぶと虫。

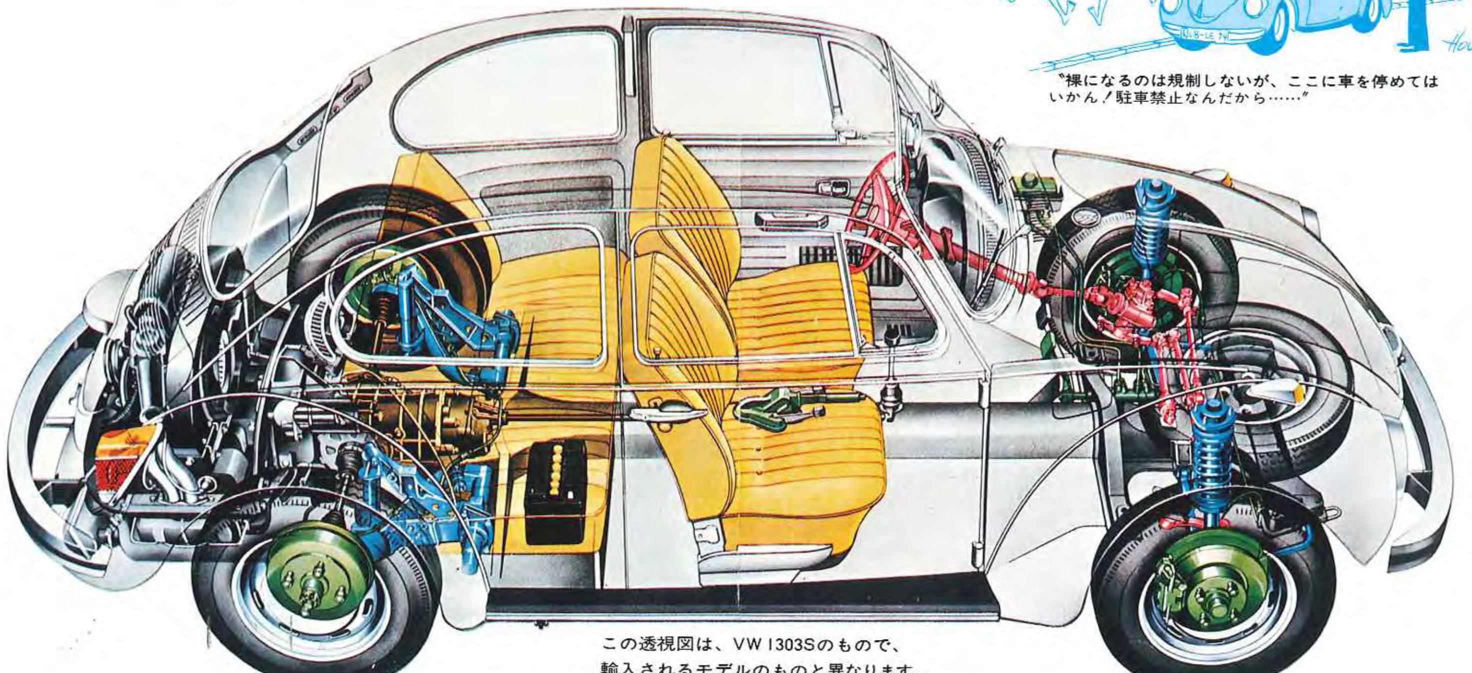
ビートル
ザ・ワールド・チャンピオン
すてきな個性がきらめきます。

1972年2月17日——かぶと虫が世界チャンピオンになった日です。
自動車業界の歴史を塗り変えることになったこの日、15,007,034台目のかぶと虫が工場からラインオフ。単独車種の生産台数で不倒の世界記録を樹立したのです。いらい、この世界記録は毎日毎日かぶと虫自身によって更新され、すでに1,900万台を超える記録をマークしつつあります。
40年もの長い年月、かたちを変えることなく世界中の人びとに信頼され、愛されつづけてきたくるま、かぶと虫は、ほんとうに不思議なくるまです。他のくるまなら5～6年もたてば、何とも流行おくれで、みじめに見えるのに…
昔はみっともないくるまの代表のようにいわれたかぶと虫が、いまでは、逆にとても新鮮で生き生きとしたくるまに見えるのですから、これはどうしたことでしょう。

近ごろ“ほんもの”ということばがよく使われますが、かぶと虫には“ほんもの”という実感があります。
目に見えないところにも決して手を抜かない、くるま本来の機能を最も大切に考える、という頑固な姿勢がこのくるまに、変ることのない確かな価値を与えることになったのでしょう。

選びぬかれた材質。雨風にも耐える入念な塗装。無類の耐久性をもった空冷エンジン。石にも泥にもひるまない鋼板一枚張りのプラットホームシャシー。悪路もラクラクと走破する、力強い4輪独立懸架のサスペンションなど、今日の進んだ自動車工学が追究している技術が、長い年月の不断の改良によって、最も完成度の高いかたちでかぶと虫に生かされているのです。
かぶと虫をごらんください。どんな細部にも小さな部品の一つにも、ほんものならではの確かさと豊かな個性がきらめいています。

“裸になるのは規制しないが、ここに車を停めてはいかん！駐車禁止なんだから……”



この透視図は、VW 1303Sのもので、
輸入されるモデルのものと異なります。

人生のよきパートナー かぶと虫

喜びと悲しみを知っている ある"生物"のはなし。

映画の都ハリウッドに、マンズ チャイニーズ シアターという劇場があります。この劇場の一角に、映画界で活躍した大スターたちの手形や足形が、永遠の記念として残されていることをご存知でしょう。マリリン モンロー、ハンフリー ボガード等の名優、さらに変ったところでは、名犬ラッシーの足形も刻まれています。

この劇場に、最近もう一つ新しい"足形"が残されることになり、大きな話題を呼んでいます。映画「ラブ バッグ」に主演、大活躍をしたかぶと虫、"ハービー君"のタイヤの跡です。とにかく、人間や動物以外で、ここに跡をのこすことになったのは、ハービー君が第一号です。

映画「ラブ バッグ」でかぶと虫のハービー君は、空を飛び、河を泳ぐという大奮闘、そればかりか、捨てられては涙ながらに主人のところへ帰って来たり、悲観にくれて河へ飛びこみ自殺を図ったり。

かぶと虫のハービー君は、もはや、自動車ではありません。心をもった立派な動物、喜びも悲しみも知っている生き物です。

かぶと虫以外の車で、今日、果して映画の主演ができるほどの、豊かな個性をもった車があるでしょうか。40年という長い年月、手塩にかけてつくり続けられ、世界中の人びとに愛され、ともに生きつづけてきたかぶと虫は、単なる機械から、自分自身の生命をもち心をもつ生き物に育っていきました。一人一人のオーナーのよきパートナーとして。

主人の確かな足としてばかりでなく、喜びや悲しみ、人生そのものを共にしてきました。

空冷エンジンの心臓をもつかぶと虫は水さえ欲しがらないし、入念に塗装された甲らは、きびしい風雪に耐えて、ガレージのない野外でも不満を訴えません。厚い鋼鉄の一枚板でおおわれた腹部は、石や泥のはねかえりに耐えて、主人の安全を守っています。タフな足で道のないところまで主人のお供をします。

あなたが、かぶと虫をあなたの車としてお選びになることは、他の車を選ぶのとは別の意味をもっています。あなたの愛情にこたえて一生懸命に走る忠実なパートナー、そしてあなたに豊かな、大きな人生を楽しんでいただくために、力をさしのべる信頼できるパートナー、あなたに尽して無理をいわないで、何年も何年もつかえるパートナーをお選びになることを意味しているのです。

かぶと虫とともに、すてきな人生をどうぞ。

ビートル
ザ・ファン・カー
かぶと虫なら、キャンバスにもなります。

“あっ！ 鳥だ、飛行機だ！ フオルクスワーゲンかな？”

これは、アメリカで評判になったフオルクスワーゲンの広告のキャッチフレーズです。

水平対向、空冷、アルミとマグネシウムの軽合金のコンパクトでタフなエンジンは手造り飛行機野郎に人気です。

ことし、日本ではじめて、手造り飛行機大会が埼玉県熊谷飛行場で開かれた時も、かぶと虫のエンジンをのせた手造りのモデルが大活躍しました。

サンドバギーとしてオフロードをかけめぐり、フオーミュラーVとして、サーキットを疾走、地上だけの活躍ばかりか、翼をつけて空を飛んだりできるのも、かぶと虫だからです。

かぶと虫ほど、広い用途を持った車は、ちょっと見あたりません。

パトカー、郵便車、タクシー、鉱道専用車、南極探険隊の隊用車……世界中に、さまざまな姿のかぶと虫がたくさんいます。

石がはねても、泥をかぶってもびくともしない鋼板一枚張りのプラットホーム シャシー、低速回転で大きなトルクを出し、丈夫で長持ちのするエンジン、ガタのこない仕上げ……

もとがしっかりしたかぶと虫だからこそ、こんな楽しい使い道が生まれます。

そして、もう、これ以上、変えようがないといわれるほど高度に完成されたデザインは、個性派の遊びごころをそそります。

ロールスロイスの鼻をつけた、ロールスワーゲン。これこそ、まさに、世界超一流の高級車、鼻のタカーい車だ、というわけです。

ボディ ペインティングをほどこしたワーゲンも人気です。

ヤナセは、現代の代表的なアーチストが腕をふるった個性ゆたかなファッショナブル ビートルを特製、いま話題を呼んでいます。

こんなに個性あふれた楽しみかたのできる車は、かぶと虫のほかに考えられるでしょうか。

さて、あなたなら、かぶと虫に、どんな個性をそえますか。

かぶと虫をキャンバス代りに、顔を描くのもよし、お花畑を出現させるのもよし……

あなただけの、スペシャル ビートルを仕上げてごらんになりませんか。

日本の著名アーテイストがつくった ファッショナブル ビートル

黒田征太郎作

小島 功作

清家 清作

山本寛斉作

立木義浩作

安達瞳子作

行動派のパートナー かぶと虫

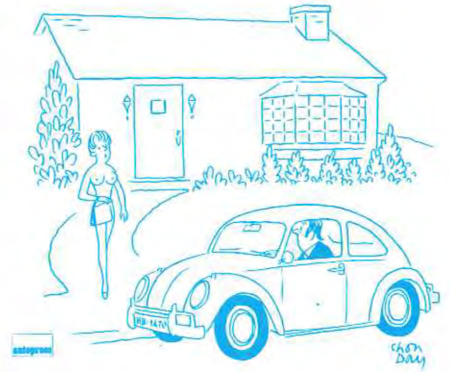
砂の中でも濁流でも空気のあるところ どこにでもすみつきます。

「世界のいたるところから集まる巡礼者たち。なぜか、砂漠の旅人はかぶと虫に乗ってきます」シルクロード、アジアハイウエイをかぶと虫で踏破した旅行者からの手紙です。
実際、砂漠の旅はかぶと虫に限ります。アジアハイウエイと気取っても、砂をかぶればたちまち、オフロード。
その上、猛烈な砂嵐。道は谷あり、山あり、さらさらの砂でなくゴツゴツの岩肌続き。

こんな話があります。リビアのトリポリから砂漠の中を走っていたかぶと虫が、砂丘の穴に落ちこみました。5ヵ月後、放置され、砂を被ったかぶと虫を石油探査隊が気づき掘り起こしました。エンジンをかけると、快調にこのかぶと虫は走り出したということです。
水を欲しがらない空冷エンジン、荒れ果てた道を恐れない一枚鋼板張りのプラットホームシャシー、山道、坂道をぐんぐんかけあがるリヤエンジン リヤドライブ方式、そして砂をよせつけない気密ボディ、国境を超えても同じサービスがうけられるフォルクスワーゲン サービス……砂漠の旅にはまさに頼りがいのある車です。

砂漠ばかりか、かぶと虫は水も平気です。南アフリカでは大洪水の濁流に落ちこんだかぶと虫が、ボートのように水に浮いて救助を待ちました。気密ボディで、水の入りこむ余地さえなかったわけ。
近年、ニューヨーク州はすさまじい寒波に見舞われ、雪と氷に埋めつくされました。その中を、かぶと虫は市民のために大活躍したということです。
空気のあるところ、人のいくところどこでもかぶと虫は走ります。たとえば地下1,000mの鉱区の中でも。
でも、かぶと虫は頑丈さだけを誇っているのではありません。
すばらしい乗心地、すぐれたロードホールディングを発揮する4輪独立懸架のサスペンション、万一、パンクしたり、スリップした時も直進性を失わないセルフ スタビライジング ステアリング システム。

万一の場合にもドライバーの安全性を守るコラプシブル ステアリング、いつもボデイをしっかり守る大きなバンパー、安定性抜群の大きなタイヤ……
かぶと虫は戦車ではありませんから、おのりになるかたの安らぎや快適さをしっかり考えています。そのためにも26万回5115個所以上にわたって、徹底的に改良がかさねられているのです、見えない所で―。
もし、あなたがお望みならば、かぶと虫はどこにでも、あなたを快適に楽しくご案内します。熱沙の砂漠でも、地下鉱区でも――そう考えるだけでも、かぶと虫はお持ちになる価値のある車ですね。



"今度、私が着ていくものがないと云ったら、きっと本気で考えてくださるわネ"

1978 BEETLE

VW 1200LE

そして、今年も かぶと虫

胸をはります。生粋の誇り高き 西ドイツ生れです。

78年モデルのかぶと虫は、もちろん、いちばん新しい、いちばん進んだかぶと虫です。(毎年のニューモデルがそうであるように。)今年の新しいかぶと虫をご紹介しましょう。

今年日本に入ってくるかぶと虫は2種類。力強い1600ccエンジンをのせ、ぜいたくな装備をもつ1200LEモデルと、オープンカーのかぶと虫、1303LEコンバーチブルです。

まず、1200LEモデルをごらんください。

●たくましい1600ccエンジン。

空冷、水平対向4気筒で知られるかぶと虫のエンジンの中でも、最も強力な1600ccエンジンをリヤに搭載。もちろん、リヤドライブ。48馬力(DIN)/4,000rpm。トルクも10.2kgm/2,800rpmと、たっぷりしたパワーをもっています。最高巡航速度は130km/h。法律さえゆるせば、このスピードで道の続く限り、ガソリンのある限り走り続けられる、カケ値なしの数値です。

●悪路もわが道にかえる 卓抜したサスペンション

ロードホールデイングにすぐれた4輪独立のサスペンション。前後にトーションバーと、ロングトラベルのショックアブソーバー、さらにリヤにイクオーライザー スプリングを装備し、大きなタイヤでどんな悪路もスムースに、力強く走破します。地球上、すべてを道にかえる、かぶと虫の信頼できる足です。

●風雨に耐える入念仕上げのボデイ

かぶと虫のボデイの仕上げのよさは、もうどなたもご存知。多重塗装、何年もの使用にたえるガタのこない堅牢な仕上げです、しかも、おなかの部分は頑丈な鋼鉄の一枚板で覆われ、石や泥のはねかえりを意に介しません。かぶと虫はとても気密性が高いので、水に浮くといわれます。たしかに事実です。しかし、か

ぶと虫はボートではありません。水に入ることはおやめいただきたいものです。

●精巧にしてシンプル。かぶと虫の室内。

たった一つのメーター。でも走るために必要なすべてを教えてくれます。 ステアリングコラムにつけられた2つのレバーは、ライトの切替えとワイパーの作動。すべてが手作りでたやすく操作できます。 ダッシュボードには、AM/FMラジオ(国産)が組込まれ、便利なグローブボックスがあります。

室内を新鮮な外気と入換え、ウインドシールドの曇りを晴らす効果的なベンチレーションシステム、さらに効率のよいヒーターで、年中快適なドライブが楽しめます。

かぶと虫の室内は隅から隅までフォルクスワーゲンならではの品質の高さがうかがえます。シートはとても部厚く、柔らかすぎず、硬すぎず、ロングドライブでの疲れを最小にする設計、もちろんフロントはフルリクライニングです。リヤシートの乗客にもたっぷりしたレッグルームがあり、ゆったりくつろげます。

かぶと虫は想像以上にたくさんの荷物がつめます。フロント ボンネット下のトランクルームとリヤ シート の後のスペースにたっぷりとドライブに必要な荷物がつめます、もっとたくさんの荷物を運ぶ時は、リヤシートを折りたたんで前に倒してください。世界一周にもことかかないほどの大きな荷室ができあがります。かぶと虫で、すばらしい旅にお出かけください。

おしゃれでスポーティなビートル VW1303LEコンバーチブル

世界広しといえども、こんなコンパクトな車のオープンカーはただ一つ。かぶと虫のコンバーチブルです。

走る機能はフォルクスワーゲンそのもの。ボデイはカスタムカーづくりの名門、カルマン工場製です。パワフルな1.6ℓの空冷エンジン、そしてスポーティなストラット タイプのサスペンションを装備しています。

かぶと虫ファン垂涎の、ぜいたくな、ぜいたくなかぶと虫です。

ヤナセ横浜デポー

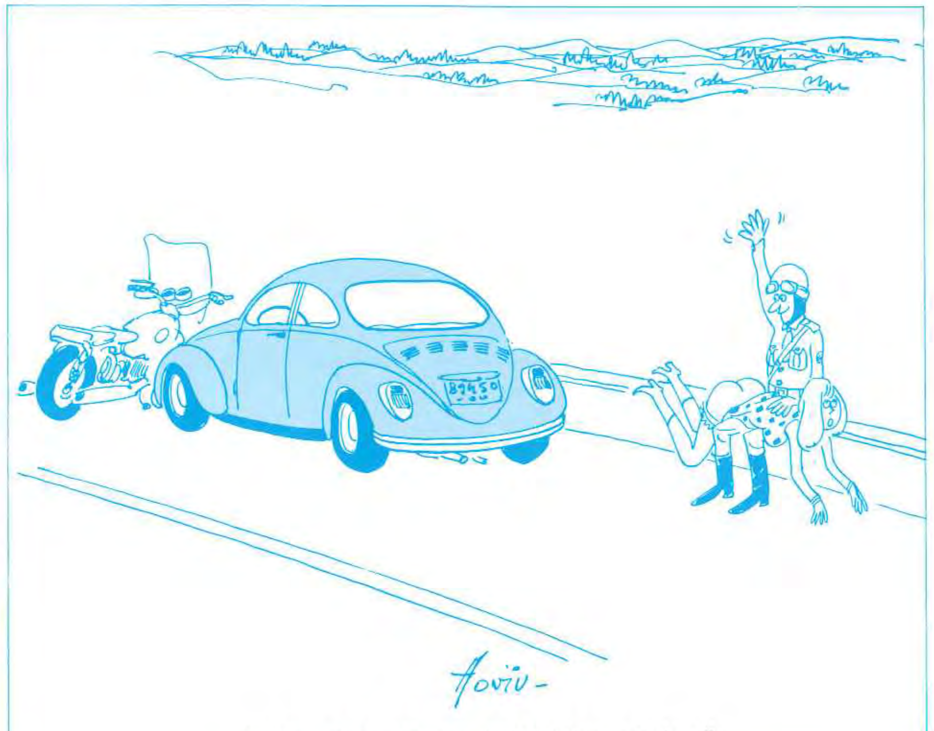
ヤナセ小牧デポー

大きな安心を乗せて走るかぶと虫。

全国のフオルクスワーゲン・サービスがあなたのかぶと虫を見守ります。

「自動車には適確なアフターサービスが必要である。適確なアフターサービスの伴なわない自動車は何の役にもたたない」フオルクスワーゲン初代社長、ノルドホフ氏の名言ですその言葉に従って、フオルクスワーゲンの走るところ、世界140ヵ国に、VWサービスネットがはりめぐらされました。
いまや、かぶと虫は、世界のどこにいっても公平な取扱いをうけることができます、パーツでもサービスでも……
日本では、全国200ヵ所以上、ヤナセのVWサービスネットが、あなたのかぶと虫を見守ります。
かぶと虫のスペシャリストたちによるサービス作業、全国どこへいっても、同じです。

VW SERVICE



"こんど、スピード違反をしたら免許証をとりあげるゾ"

ヤナセの横浜と名古屋の2つのデポーには26,000種のパーツがコンピューターで管理され、全国どこへでも適確に供給されるシステムになっています。
たとえ、あなたのかぶと虫が何年式のモデルでも、そしてこれから何年先まで、お乗りになるおつもりでも、パーツについてのご心配は無用です。
純正部品、そしてドライブをより魅力的にするためのアクセサリー類も、全国200ヵ所のヤナセのVWネットで、いつでもあなたのご用命をお待ちしています。
何年先までも安心つきの西ドイツ生まれのかぶと虫を、どうぞ、ご愛用ください。